

現場対応型リアルタイム海洋環境等モニタリングシステム実証事業

【令和5年度予算概算決定額 8（－）百万円】

<対策のポイント>

東南アジアの漁業者が、海洋の有害有毒藻類ブルーム（HAB）等の状況をリアルタイムで情報共有するスマートフォンのアプリケーション（FishGIS）を活用した実証試験を行います。また、PICES加盟国の漁業者等が利用可能なFishGISを構築し、PICES加盟国を中心とした社会実装について検討を進めます。

<政策目標>

- PICESの枠組みを活用してシステムを改良し、諸外国へ社会実装することで、国際的な科学委員会等における我が国のプレゼンスを強化
- 我が国でのシステムの社会実装を図ることにより、我が国漁業の持続性確保や水産物の安定供給に貢献

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. FishGISによるリアルタイム海洋環境等モニタリングの実証試験

- 東南アジアの現地漁業者がFishGISを活用し、海洋の状況をスマートフォンからデータ報告し、解析された結果をリアルタイムで地図上に示して漁業者へ情報共有を行う仕組みについて実証試験を行います。
- 実証試験の結果をフィードバックし、FishGISの機能拡張や操作性の改善等のシステム改良を行います。

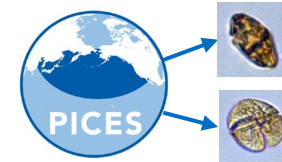
2. PICESの枠組みを活用したHABモニタリング機能拡張及びFishGISの社会実装に向けた検討

- PICES加盟国におけるHABに係る海洋及び生物データを幅広く収集し、当該データによりFishGISのシステム改良を行い、多様かつ広範囲でのHABの検出が可能となるような機能拡張を実施します。
- PICES加盟国の漁業者等によるFishGISの社会実装に向けて必要な体制について検討を行います。



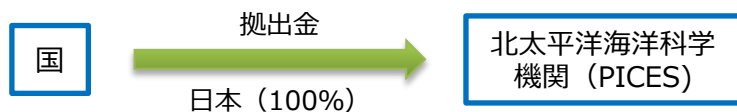
○FishGISによるリアルタイム海洋環境等モニタリングの実証試験

○PICESの枠組みを活用したHABモニタリング機能拡張と社会実装に向けた検討



PICES加盟国におけるHABデータを収集

<事業の流れ>



国際的な科学委員会等における我が国のプレゼンスの強化
我が国漁業の持続性確保や水産物の安定供給に貢献

【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 水産庁研究指導課 (03-3502-0358)